



【S-SYSTEM】... SMOOTH・SILENT・STRONG を追求するために集結された独自の機構の数々。

いままでのスピニングリールを更にパワーアップしたSUPER SHIP

Super SHIP

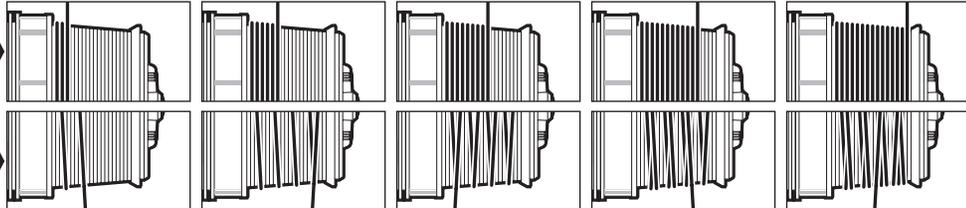
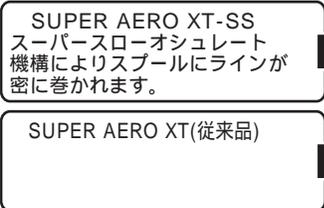
SMOOTH & HIGH POWER SYSTEM

スムーズ&ハイパワーシステムとは...

従来のSHIPにさらに磨きをかけたSUPER SHIPはよりパワフルで敏感な巻き上げ、軽く超スムーズな回転を実現したシステムです。

歯の形状を徹底的に研究し開発した大口径マスターギヤを搭載しました。そして独自のカタチを持つ歯面を、ラッピング処理により磨き上げることで、まるで吸い着くように滑らかで、軽い巻き上げが可能になりました。

スーパースローオシュレート(密巻機構)
密に巻かれたラインは、スプール前後のターン数が極めて少ないため、乱れず美しく放出されます。従来の場合と比較してエネルギーロスが少ないためこれまでにない遠投性を発揮します。それは同時に複雑なスピールの上下運動を落ち着かせ、巻くことの楽しさを生みだします。右のイラストはイメージ図です。



BUILT IN ROTOR

ビルトインローター

アームカムを内側から取付けたことにより糸ガラムを解消しました。

POSITIVE BAIL

ポジティブベール

ベールを開くとカチッというクリック音がしてベール操作がスピーディに正確に行えます。

糸巻き形状の調整

糸巻き形状の調整が可能のため、フロロカーボンのような堅い糸でのバックラッシュのトラブルを防止できます。(「操作方法」参照)

SUPER STOPPER II

スーパーstopper II

これまでのスーパーstopperをさらにグレードアップしたローラーベアリング内蔵のstopperで、瞬時のアワセや糸フケとそれにとまらぬガイドがらみを防止します。

超々ジュラルミンコールドフォーミング(冷間鍛造) マスターギヤ

超々ジュラルミンをコールドフォーミング(冷間鍛造)した高精度で耐久性に優れたマスターギヤ。大口径から生まれるゆとりがパワーを発揮します。

防塵機構

85mmロングパワーハンドル

クロスギヤドライブシステム

サイレントstopper機構

35mmロングストローク

A-RBベアリング内蔵チタンコーティングパワーローラーIII

ボールベアリング内蔵5個

ローラーベアリング内蔵1個

糸落ち防止カラー

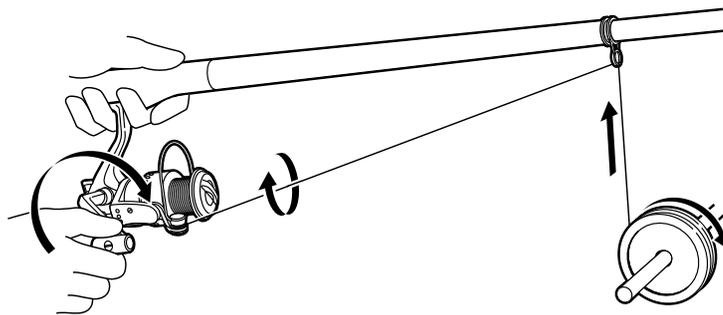
POWER ROLLER

パワーローラーIII

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻き取る時に生じます。そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻き取る時、糸のヨレを50%解消する新開発「パワーローラーIII」を採用。ライントラブルの減少を図りました。 1 (当社比、基準による) 2

パワーローラーIIIご使用上の注意

「パワーローラーIII」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下図の要領で糸を巻いて下さい。



図のようにリールを竿に取り付けます。第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。ドラッグの締まっていることを確認して下さい。糸が巻かれているポビンに割り箸のような軸になるものを通します。それを誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけてポビンを回転させながら糸を巻いて下さい。

- 糸ヨレについて
次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。
もともと糸がヨれている時。
ドラッグが作動した時。
仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。
新しい糸を巻き取り、巻き方が不適切だった時。
非常に軽い仕掛けの巻き取りでローラーが回転しない時。
仕掛けを投げた直後の糸フケを巻き取る時。
その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。
- 当社比、平均50%解消
磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下(仕掛け、ルアー、巻きとり具合)で1日釣をしたということを想定したテスト(当社品質規格)を行い、従来商品と比較したデータです。平均で50%解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

A-RB (ANTI-RUST BEARING)

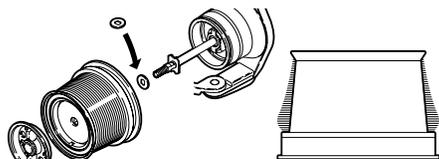
アームローラーのボールベアリングに、シマノ独自の驚異的な耐蝕性を持つA-RBを採用。海水の影響を受けても錆を寄せつけません。

操作方法

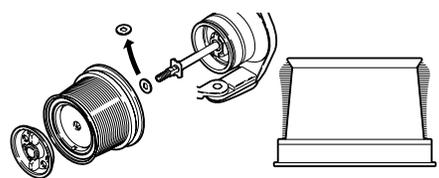
糸巻き形状の調整方法

工場出荷時には、最適な糸巻き形状となる様に調整されていますが、付属の調整ワッシャを使用することで、下図のように糸巻き形状を好みに応じて調整することができます。

現在よりも後ろよりに糸を巻きたい時 付属のワッシャを追加してください。

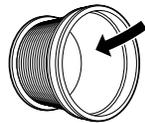


現在よりも前よりに糸を巻きたい時 スプール軸上にあるワッシャを減らしてください。



スプール使用上のご注意

万一、製品を砂の上に落とした場合は必ずスピールの内側の砂をふき取ってください。スピールをはずして、スピール軸を確認。砂がついている場合は、砂を取り除くか、回転棒の一部を分解してスピール軸を取り出し、ブラシなどで掃除してください。



スピールの内側についた砂は故障の原因になりますので必ずふき取ってください。

ハンドルの折りたたみ方法

ハンドルはネジ込み式になっています。たたむ時はstopperツマミをONにしハンドルを数回逆転方向に回転させ、ハンドル軸をやや引き出し、ニギリ側に倒してください。のばす時はたたむ時と逆にします。この時ハンドルを緩め過ぎますと、本体より抜け落ちますのでご注意ください。

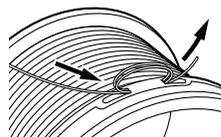


stopperツマミの操作

右ハンドルの場合リールを後ろから見てツマミが左に倒れている時(ON) 逆転止めがかかり、ハンドルは正転方向にしか回りません。通常の巻き取り時に使用します。同様に、ツマミが右に倒れている時(OFF) 逆転止めが解除され、正転、逆転どちらの方向にも回ります。ハンドル逆転による糸の送り出しができます。(左ハンドルの場合はこの逆になります。)

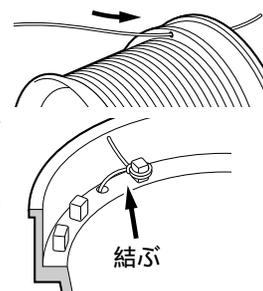
ラインホルダー

細い道糸が引っかかるトラブル防止のため、ラインホルダーの構造が通常のリールと異なります。ラインの先端を、ホルダーに通し、適宜巻きつけて止めて下さい。



ラインの巻きはじめ

このスプールは巻きはじめのずれが生じにくく、きれいにラインを巻くことができます。1.スプール糸巻き側の穴から、糸の先端を内側に出します。2.スピールの内側には3本の突起があり、この突起の頭に糸の号数を表示しています。この突起に糸の先端を結びつけてください。



キャスト時の注意

キャストを行う際は、ベールアームを本体の当たり近くで返してください。ローターが回転して、ベールアームが不用意にもどるトラブルを防ぐことができます。